

**全国数学教育学会
第33回研究発表会(愛媛大会) プログラム**

平成23年1月22日(土)～23日(日)
会場: 愛媛大学教育学部

※ 1件の研究発表の時間は25分(研究発表15分, 質疑応答10分)です。
※ 計時ベル: 1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴25分(予定)

1月22日(土)	A会場(202教室)	B会場(203教室)	C会場(401教室)	D会場(402教室)
13:30～13:55	A-1 上月 幸代 (兵庫教育大学 院生) 数学教育における空間的思考力に関する研究	B-1 廣瀬友樹 (愛媛大学 院生) 学習者が数学を活用する態度の変容を促す学習に関する研究(3)	C-1 金子 大輔 (広島大学 院生) 学習意欲を高める数学科授業の創造—授業実践の分析—	D-1 藤村 俊介 (広島大学 院生) 数学教育における理解に関する研究—2次不等式の理解の困難性に対する考察—
14:00～14:25	A-2 影山和也 (愛知教育大学) 中等幾何教育における幾何的思考の様相—敷き詰め課題における単位図形の構造化—	B-2 杉森 雅之 (埼玉県戸田第二小学校) 学習を活用する力を伸ばす学習指導に関する研究(2)	C-2 福井 順也 (広島大学 院生) 学校数学における数学化過程に関する研究—数学化過程における活動とその特徴—	D-2 宝多 孝治 (兵庫教育大学 院生) 適応的数学知識—概念的知識と手続き的知識の再考を通して—
14:30～14:55	A-3 大林 正法 (大阪市立田島小学校) 新しい図形教育	B-3 青山 睦紀 (広島大学 院生) 高等学校における数学的活動に関する一考察	C-3 伊藤祐介 (横浜国立大学 院生), 池田敏和 (横浜国立大学), 瀬沼花子 (玉川大学) 情報選択・整理・解釈する力と伝統的な問題解決力との関係に関する研究	D-3 井口 浩 (上越教育大学 院生), 桑原恵美子 (上越教育大学 院生), 岩崎 浩 (上越教育大学) 学校支援プロジェクトにおける算数の授業改善へのアプローチ:「知的責任の委譲」の実現の問題
14:55～15:05	休憩 (10分)			
15:05～15:30	A-4 佐々祐之 (熊本大学) 操作的証明(Operative proof)に関する研究(Ⅱ)～おはじきと位取り表の操作に関する臨床的インタビューを通して～	B-4 下村 哲 (広島大学), 今岡 光範 (広島大学) コンピュータを活用した数学の問題作り(VI) —問題の作成過程の分析を通して—	C-4 瀬沼花子(玉川大学) TIMSS1999、2003、2007数学問題における日本の中学校2年生の考え方と表現の変化—「時間の見積もり」を中心に—	D-4 中原忠男 (環太平洋大学), 山田 篤史 (愛知教育大学), 清水紀宏 (福岡教育大学), 山口武志 (鹿児島大学), 影山和也 (愛知教育大学), 小山正孝 (広島大学), 飯田慎司 (福岡教育大学), 植田 教三 (広島大学) 潜在的な数学的能力の測定用具の活用化に向けた開発的研究(V) — 潜在力指導の思考力に対する効果の検討 —
15:35～16:00	A-5 杉山 佳彦 (北海道教育大学釧路校) 数学教育における「証明」についての基礎的研究—順序関係について—	B-5 垣水 修 (新潟大学), 今岡 光範 (広島大学) 2次関数の学習における、数理的考察力を育む課題設定	C-5 寺田 直樹 (愛知教育大学 院生) 数学的ディスコースの意義と指導についての考察	D-5 秋田 美代 (鳴門教育大学), 齋藤 昇 (鳴門教育大学) 数学教育における創造的思考の活性化に関する研究—柔軟性を高める指導教材の開発—
16:00～16:10	移動(E会場:大講義室へ)			
16:10～17:20	E会場(大講義室) 開会行事・総会 学会賞授与式			
18:00～20:00	懇親会 会場(大会会館1F:パルト)			

1月23日(日)	A会場(202教室)	B会場(203教室)	C会場(401教室)	D会場(402教室)
9:00~9:25	A-6 山中法子(広島大学 院生) 小学校高学年における図形指導のあり方に関する基礎的考察(1) 一中小接続の立場から	B-6 清水邦彦(埼玉大学 院生) 数学的な表現の主體的な活用を促す指導の研究(2)	C-6 南條 真由子(兵庫教育大学 院生) 算数教育における説明様式に関する一考察	D-6 溝口達也(鳥取大学), 山本 靖(鳥取大学附属中学校) 中学校数学科における関数と方程式の統合を志向した教材の開発
9:30~9:55	A-7 松尾 温子(広島大学 院生) 学校数学における無限概念の形成過程に関する研究 無限概念の形成過程と高等学校における指導	B-7 福井 武彦(兵庫教育大学 院生) 中学数学における教育的アナロジーを用いた指導の研究	C-7 大橋 博(上越教育大学 院生), 渡辺勝行(上越教育大学 院生), 岩崎 浩(上越教育大学) 学校支援プロジェクトにおける算数の授業改善へのアプローチ:「パターンの科学としての数学」という視点の有効性	D-7 大滝孝治(広島大学 院生) 確率の概念形成を捉えるための理論的視座に関する一考察
9:55~10:05	休憩 (10分)			
10:05~10:30	A-8 杉野本勇氣(広島大学 院生) 数学教師の学力観が及ぼす数学観に関する一考察	B-8 高淵千香子(広島大学 院生) 「数の拡張」の学習指導に関する実践的研究 一分数の乗法における意味の拡張に焦点をあてて	C-8 前田 静香(鳥取大学 院生) パターンの科学に基づく算数・数学教授学に関する研究(I) 教材分析に焦点をあてて	D-8 越村 尚貴(新潟大学 院生) 算数における関数の考えに関する一考察
10:35~11:00	A-9 渡辺 信(日本数学検定協会) 生涯学習と数学の有用性	B-9 渡邊耕二(広島大学 院生) エクアドルにおける数学を日常の中で活用する能力獲得に関する研究 一PISA2003調査を用いて	C-9 山本信也(熊本大学) 数学教育の基礎としての数学観:数学=パターンの科学 ~ドイツ・ノルドラインベストフアレン州における数学教育への具体化とその可能性~	D-9 岩崎秀樹(広島大学), 岩知道秀樹(広島大学 院生), 大滝孝治(広島大学 院生), 杉野本勇氣(広島大学 院生), 藤部聡哉(広島大学 院生) 代数領域における論証指導の意義と課題 ~Sylvesterの定理の教材化~
11:00~11:10	移動			
11:10~12:40	【A部会】 数学教育学と授業実践 (大講義室)		【B部会】 数学教育学と教育課程 (401教室)	【C部会】 数学教育学研究のアイデンティティと学際性 (402教室)
12:40~14:00	昼食 休憩			
1月23日(日)	A会場(202教室)	B会場(203教室)	C会場(401教室)	D会場(402教室)
14:00~14:25	A-10 大道 晃平(岡山大学 院生) 数学的モデル化を生かした単元構成について	B-10 木根 主税(鹿児島女子短期大学) 開発途上国における数学教師の省察に関する研究(1) 一ザンビア共和国村落部における小学校教師の記述に基づく省察を中心に	C-10 富谷 優衣(広島大学 院生) 数学科における問題解決型授業に関する研究	D-10 真野 祐輔(大阪教育大学) 変数性に関する概念変容のデザインに向けた基礎研究: 「式」のコンセプションの変容をどう捉えるべきか
14:30~14:55	A-11 片岡 啓(和歌山大学) 明治期師範学校の数学教育 一和歌山県師範学校旧蔵文書から	B-11 石井 洋(広島大学 院生) ザンビア授業研究における教師の変容に関する研究 一算数・数学科の教師グループに着目して	C-11 高井 吾朗(広島大学 院生) 数学的問題解決授業における個人及び集団的観点をういた指導の研究(V)	D-11 岩知道 秀樹(広島大学 院生) 組織化活動に関する一考察 一数領域における組織化に焦点を当てて
15:00~15:25	A-12 宮本 俊光(東北大学電気通信研究所) 共生コンピューティングに基づく教育情報システムの共認知機構の自動化に関する一考察 一算数・数学教育への応用	B-12 内田 豊海(広島大学 研究員) 第二言語で算数を学ぶことの困難性: ザンビアにおけるニューマン法を用いた調査より	C-12 内田 武瑠(広島大学 院生) 算数科における自己評価能力の育成を目指した授業づくり 一ふり返りの分析枠組みの設定を中心として	D-12 阿部好貴(広島大学附属中・高等学校) 数学的リテラシー育成のための教授・学習のあり方に関する一考察
15:25~15:30	移動(E会場:大講義室へ)			
15:30~15:45	閉会行事			